



会からのお知らせ

○ 7月 定例役員会

日時：平成22年7月10日（土） 13:00～15:30

場所：サンパルネ・会議室

役員会には会員の皆様はどなたでも参加できます。是非ご出席いただき、稲門会の活動等についてご意見をお聞かせください。またお誕生会もありますので、ご参加ください。

○ 7月度・8月度合同お誕生会（担当幹事 南湖 390-2287）

日時：7月10日（土） 17:00～19:00

場所：割烹「丸藤」 久米川駅南口から徒歩1分

電話 042-395-5646

会費：3,000円

該当の方々ぜひご参加ください。お待ち申し上げております。（特に8月誕生月の方はこの7月10日実施の7月度・8月度合同お誕生会が該当しますので、お間違えのないようご注意ください。）

なお、誕生月ではないが誕生月の方と一緒に祝いしてくださる方のご参加も歓迎いたします。ご希望の方は、担当幹事までご連絡ください。また、誕生月該当者で、下記されていない方は、担当幹事までご連絡ください。

☆7月度お誕生の方々（敬称略17名）

小野浩一、奥村幾正、川合宏幸、北野二郎、紅松 喬、小出孝子、幸田瑞穂、
高橋一彦、藤田洋司、高部素行、高鷺 近、田邊正史、富塚哲夫、鍋島高明、松永常尚、
三宅良太、横尾正宏

☆8月度お誕生の方々（敬称略13名）

小林 傳、高柳忠正、辰巳慎次、丹野 寛、南湖修一、野田 数、林 基樹、番場吉次、
福田昇七、山下邦康、野中昭夫、阿部 茂、市川久美子

○ 納涼会のご案内

昨年に引き続き、今年も納涼会を行うことになりました。昨年は雨天にもかかわらず64名の方々の参加をいただき、思い出に残る会となりました。

今年も趣向をこらしたイベントを企画します。皆様、是非ご参加ください。

記

日時：平成22年7月25日（日） 16:00～19:00

（雨天でも実施します）

場所：當間昭治宅庭園

久米川町3-14-4（駐車場あり） TEL 391-6023

会費：会員 2,000円

ゲスト 500円

会員家族 無料

○ 第69回雑学講座

日時：平成22年8月7日（土） 15:00～16:30

場所：サンパルネ コンベンションホール（東村山駅西口駅ビル2F）

講師：赤荻洋一氏（当会会員 昭40商卒）

演題：「鉄道の雑学とヨーロッパを旅して」

鉄道会社に勤務された経験を生かし、まず鉄道についての雑学をいろいろと話していただきます。そしてヨーロッパ21ヶ国を旅し、各地で出会った列車をプロ並みの写真技術を駆使して観光地の風景とともに投影、あわせて迷子になった事や失敗談等も交え、楽しくお話しさせていただきます。

○ 他稲門会等出席

5月22日(土)	調布稲門会	調布市文化会館	小亀会長・風間副会長兼事務局長
5月23日(日)	西東京稲門会	東伏見校舎	小亀会長・高橋正夫幹事
5月23日(日)	町田稲門会		風間副会長兼事務局長・小野幹事
6月5日(土)	武蔵野稲門会	東急イン	三宅相談役・額田幹事
6月5日(土)	国分寺稲門会	国分寺Lサロン	滝川桜子幹事

○ 新たな付属・係属校で1期生が入学

付属校として初の中学校「高等学院中学部」では、まだ小学生の面影が残る128名の新生を迎えました。4月8日の入学式で白井総長は「中学生というのは将来を切り開くための基礎を築く大切な時期ですから、建学の精神を胸に、切磋琢磨してください」と期待を述べられました。

早稲田佐賀中学校・高等学校も大隈重信の出身地・佐賀県の唐津に開校し、本学の教旨銘板とともに付属・係属校のシンボルである大隈重信の胸像も設置されました。

1期生として中学校123名、高等学校129名が入学しました。

○ 総長選挙に2教授が立候補

白井総長が2期8年の任期を終え(10月)新総長の選挙が行われるが、この度社会科学部の小山慶太教授と法学部の鎌田薫教授が立候補した。今後学生の信任投票等を経て6月15日に専任教職員・評議員・商議員(一部)・校友会支部長により選挙が行われる。



マラソンにはまっています

遠藤 誠 (S49 理院)

最近のランニングブームは、健康志向の高まりもあり、異常とも思える盛り上がりである。特にフルマラソンは、人気が高いが、その距離と時間の長さ、開催時期、コース設定や交通規制の関係から、全国的にもかなり数は限られる。それ故、それらの大会には、参加者が集中し、東京マラソンの3万人を筆頭に、ほとんどの大会は1万人以上の定員にも関わらず、応募開始からすぐに定員オーバーで締め切られてしまうほど人気がある。正式なフルマラソンは、42.195kmを走るのであるから、市民ランナーにとっては非常に過酷なスポーツである。我が家の萩山町からだと、新宿までを往復する距離になる。

サラリーマンは体が資本と思い、ランニングを始めたのは、30年前になるが、この距離を考えてしまうと最近まではとてもフルマラソンにチャレンジしようという気はまったく起こらなかった。無謀とは思ったがフルマラソンに初めて挑戦したのは、56歳のときだった。たまたま結婚して25年の節目で、新婚旅行で行ったハワイ旅行を計画したとき、そろそろ体力的にもフルマラソンを走れる最後のチャンスと考え、ビギナーには好都合な、制限時間のないホノルルマラソンに参加することとした。20km以上の長距離も走ったことはほとんどなく、フルマラソンを走る十分な準備もしないまま、ほとんどを歩いてでもいいからと自分に言い聞かせて完走を目指した。日頃の練習の成果からスタートから30km近くまでは、なんとか順調に走れたが、常夏のハワイの暑さと徐々に襲ってくる空腹と足の疲労とさらに後半のダイヤモンドヘッドの緩やかな長い登りが待っている難コースのため、30km過ぎからはまさに地獄のような苦しみを味わった。なんでこんな苦しいことに金をかけてやるのか、2度とフルマラソンは走らないぞと後悔ばかりが頭をかすめるが、周囲の応援となんとか完走したいという気持ちを切らさずに、また走った後のご褒美のビールを考えながら、目標であった約5時間でフィニッシュできた。フィニッシュした後も、足は攣ってしばらくはまともに歩けなかったが、フルマラソンを完走できた充実感と満足感は今でも忘れられない。レース中はあれほど悔やんだにもかかわらず、終わってしまうと苦しかったことを忘れ、次のことを考えるようになるのは不思議である。結局、1年後に再びホノルルを走っていた。その後は、ゴールドコースト、荒川マラソン、青島太平洋マラソンと年に3回のペースで走り続けている。

よく言われるが、なぜかマラソンはやめられない。一種の中毒である。走る度にタイムが短縮できるようになるとますますはまってくる。60歳も過ぎたので、タイムにこだわらずに楽しく走ればと言われるし、自分でもそう思う。しかし、なぜか一生懸命に走ってしまう。練習量も増えタイムがだんだん良くなってくると、ますますやめられなくなり、次も次もと慌ただしいランニング人生を送り始めている。

65歳まで走ってやめようとか、記録が落ちてきたらやめようとか考えていたが、いろいろな大会で、自分より大先輩が、素晴らしい記録で走っているのを目の当たりにすると、今は、健康が続く限り走れるまでやろうと思うようになってきた。

マラソンは、不思議な魅力を持ったスポーツであるとおつくづく思う。

稲門祭記念品に大隈重信侯ゆかりの蒔絵のデザイン

大内 一男

私は東村山稲門会から選出された2010年稲門祭運営委員として、奨学金記念品販売本部副本部長を務めさせていただいております。部会では早稲田大学校友会設立125周年を迎えて、是非例年にはない記念品を提供したいという雰囲気に溢れていました。そうした中で誕生した物の一つが、私の提案した1万円コースの会津塗小物入です。

同記念品は日本の伝統技術、会津塗蒔絵職人の手仕事とオルゴールのトップブランド Sankyo のコラボレーションにより生まれたものです。

会津塗の歴史は古く天正18年、蒲生氏郷が会津の領主となり前任地の近江日野から木地師、塗職人を随伴し当時の最先端技術を持ちこみ礎が築かれました。江戸時代に入ると藩祖・保科正之（家光の弟）を始め歴代の藩主の手厚い保護により発展し、受け継がれたものです。

Sankyo は、旧社名を三協精機製作所といい、一時期世界のオルゴールムーブメント市場の80%以上のシェアを獲得したこともある企業です。

現在はパソコン小型化に大きな貢献をしている、ハードディスクドライブ用精密小型モーターを始めデジカメ、携帯電話他デジタル家電用の超小型ステッピングモーターで、世界のシェアの75%を握っていると言われる日本電産グループの一翼を担っており、社名も日本電産サンキョーと変わっています。

また記憶に新しいところでは、バンクーバーオリンピックのスピードスケートで銀、銅メダルを取った長島圭一郎、加藤条治選手は同社のスケート部です。また長野オリンピックで金メダルに輝いた清水宏保選手も、同社の所属でした。

これらの二者の優れた伝統技術、新技術を結びつけて出来上がったのが会津塗小物入です。蒔絵のデザインは、早稲田大学会津八一記念博物館（3号館前の旧図書館）所蔵の「稲蒔絵重箱」の意匠に範を採ったものです。この重箱は蒔絵には珍しい稲穂の図柄が用いられている事などから、大隈家の料理方を務めていた戸田熊次郎さんが独立し銀座に料亭「萬久満」を開いた時、大隈重信侯から寄贈されたものと伝えられています。この稲穂図柄自体も、葉の部分の鋭い刀の刃のように表現した独創性の際立ったデザインになっています。

小物入として男性、女性を問わずお使い頂けます。眼鏡、腕時計、カードケースなどをしまっておき、それを取り出す時、蓋を開けるとこの企画のため特別にオルゴール用に編曲された、早稲田大学校歌が美しく奏でられる仕掛けになっています。置き場所を忘れる事も避けられます。

校友会125周年記念稲門祭「奨学金記念品販売」では会津塗小物入以外にも2千円コースの扇子、バックハンガー、折りたたみ傘。4千円コースのネクタイ、スポーツマフラー。6千円コースのウィンドブレーカー、ソムリエナイフ&ボトルキャップ。2万円コースの沈寿官白薩摩と様々な記念品が用意されています。ご購入2000円につき福引抽選券がつき、豪華景品（昨年も稲門賞A賞及びB賞は自動車でした）が当たるWチャンスもあります。後輩たちへの積極的支援のための奨学金確保に、ご協力のほど宜しくお願いいたします。



↑
← 早稲田大学會津八一記念博物館
所蔵『稲蒔絵重箱』

☆☆ お願い ☆☆

大内さんご提案の会津塗小物入を是非ご購入下さい。ご購入希望者の方は、稲門祭実行委員の高鷲さん（394-2336）または高橋正夫さん（309-3407）にご連絡下さい。今年は校友会設立125周年にあたり、稲門祭を大いに盛り上げたいと思っていますので、10月17日（日）には是非とも大学で楽しい一日をお過ごし下さい。大隈庭園の中に三多摩地区稲門会の溜まり場もあります。

会長 小亀輝雄

5月・6月度合同「お誕生会」報告

HAPPY
BIRTHDAY

担当幹事：南湖修一 390-2287

5月・6月度合同のお誕生会は5月8日（土）午後5時すぎから久米川の割烹「丸藤」で開始された。5月と6月にお誕生日を迎えられる方々30名のうち10名のご参加を得てその他役員などで総勢26名も集る盛会となった。小亀会長のお祝いの言葉のあと、風間副会長の挨拶と乾杯の音頭によって会は始まった。本日も、小亀会長や當摩彰子副会長から日本酒や焼酎の差し入れを頂戴した。これらの美酒を楽しみながらしばらく歓談後、会長からバースデープレゼントが手渡され、誕生日を迎えられる10名の方々から順次スピーチを頂いた。

最初に立たれた赤荻洋一さんは最近の健康診断で脳にいくらか問題ありと判明し、無理せず頑張るとのこと、6月6日で77歳になられる市川彰彦さんは日本語教室のボランティアやオカリナの演奏活動などあいかわらずお元気の様子であった。5月7日が誕生日の上原正行さんは趣味の「電気機関車の運転を目指し」ていられる旨、大内一男さんからは現役中も現稲門会の同士月森さんを知っていたという逸話をご披露いただいた。お客様でありながらもぜひにと誕生月の方々の卒業学部、年度のご紹介をされた風間和夫さんは戦時中空襲で家を焼かれたことや八王子から新宿まで歩いたことなどを話された。加藤正俊さんは3年前に市議員になってからの“市議員とは何か”の命題を胸に日々頑張っているとのこと、定年でお仕事をやめられた滝川桜子さんは心理学を夢中でやって来た人生について話された。6月27日誕生日の田口正澄さんは今話題の“クラウドコンピューター”について蘊蓄をご披露、6月3日誕生日の當摩照夫さんは園芸をこよなく愛されご自宅の庭を奥様と力を合わせて美しい花（現在は特に薔薇）で飾られているとのこと、最後に立たれた森本 吏さんは稲門会にももっと女性を増やしたいとの抱負を語られた。赤荻さんによる記念撮影も順調に進み、時間も頃合となったので、全員で「東村山稲門会の歌」、「早稲田大学校歌」を斉唱し、会はお開きとなった。

同好会だより

当会会員の方は、いずれの同好会にも自由に参加できます。

園芸の会

世話人 當摩 照夫・彰子 TEL 396-3033

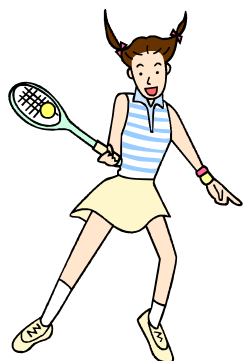


5月14日（金）に春蒔き草花の苗の交換会を行いました。出席はいつもより少し少なめでしたが総勢11人。今年は4月が低温だったためすべての植物の活動が遅れていますが、適当な温度を要する苗の芽だしも遅れ気味で、全く出てこなかった、と言う話も出ていっつもながら最近の天候不順にはとまどいます。それでも今年もマリーゴールド、ナデシコ、アスター、インパチェンス、かすみ草、矢車草、サルビア、百日草、ひまわり、ペチニア、ジニア、日々草などたくさんの草花の苗が集まりました。もちろん今回も藤澤さんがいろいろな種類の苗をたくさん用意して下さいました。また藤澤さんが見事な「せつこく」の開花株を数多く持ち込まれ、皆で鑑賞しました。

さあ皆さん、それぞれ持ち帰った苗を、夏にはおおいに咲かせましょう。次回はさざ草の開花株の鑑賞会を、8月中旬に行います。日程が決まり次第ご連絡いたします。ふるってご参加下さい。

テニス同好会

世話人 田島 隆夫 TEL 396-7676



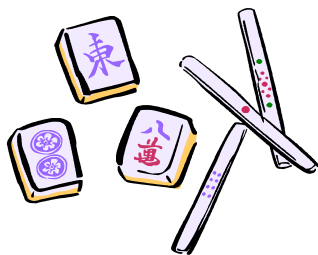
5月の例会は、5月10日（月）、久米川コート3で行われました。天候は良かったのですが、大型連休明けのせい、参加者は少なく、市川夫人、滝来、當間、田島の4名でした。少数精鋭？ではありましたが、ダブルスでタププリと汗を流すことが出来ました。次回は、多数の皆さんのご参加をお待ちしています。

今後の予定

6月14日（月） 15時～17時 運動公園Bコート
（予備日6月21日（月）9時～11時 久米川コート3）

7月 4日（日） 9時～11時 久米川コート3（予備日未定）

麻雀同好会



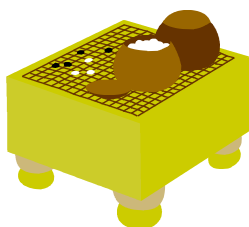
世話人 小野 智 TEL 391-9523
松永 常尚 332-5621

第51回大会を下記要領にて開催します。多数の御参加をお待ち致します。
記

日時： 6月27日(日)
集合： 12時10分
開始： 12時30分
場所： マージャンM TEL 397-5228
本町4-12 アメニティパレス B1F
会費： 7,000円
締め切り日： 6月15日(火)

雀卓人数の都合により、出来るだけ早めにお申し込み下さい。(松永記)

囲碁同好会



世話人 福田 晃 TEL 394-0593
高 鷲 近 394-2336

●6月の「例会」は、下記の要領で開催します。囲碁のルールを少しでもご存知の方は、どなたでも参加できます。お待ちしております。

日時 平成22年6月19日(土) 午後1時開始
場所 市民センター別館 第6会議室

○前号でもお知らせしましたが、「オール早稲田囲碁祭」が、6月5日(土)、日本棋院で開催されます。東村山稲門会からは、江藤・八木正晴・高鷲・鈴木・福田晃の5名が出場予定です。結果は、『稲門会ニュース』の8月号でご報告します。

郷土史の会



世話人 江藤 昌明 TEL 391-4076
伊藤 友己 398-1352

4月25日(日)、郷土史の会の4月の例会を東村山市ふるさと歴史館研修室で開催しました。都内最古の国宝建造物である正福寺について、学芸員の小川直裕氏から1時間半にわたって詳しく解説をして頂きました。

小川氏の解説は正福寺の開基とされる北条時宗、開山の石溪心月等、正福寺にまつわる人々の話から、唐様の建造様式の特徴、唐様の代表的な建造物、正福寺の歴史まで資料に裏付けられた奥の深いお話となり、改めて正福寺の歴史的な価値を知りました。当日の参加者は6名でしたが、何か勿体ないような逆に得をしたような気分になりました。

ふるさと歴史館で説明を聞いた後、正福寺へ向かい私達の街の風景の中に有る国宝建造物の姿をじっくりと観賞しました。

当日の参加者は、青山、福田(昇)、中村、高橋、江藤、伊藤の6名でした。次回は7月を予定しています。詳細は次号でご案内したいと思います。

カラオケ同好会

世話人 内藤 慎 TEL 393-5071



5月例会は5月8日開催。参加は常連の井垣、井手、高鷲、滝川、内藤の各氏とそれに大西、山下、滝川桜子、高橋文子の各氏も久しぶりの参加で賑やかな一夜でした。なかでも大西、山下の両氏は病後初めての参加。元気に大声で歌われ皆より大拍手。健康の回復何よりでした。

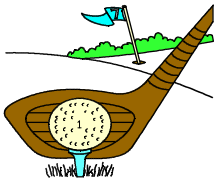
今後の予定

6月 5日(土) 19:10 カラオケランドズー
7月16日(金) 17:00~20:00 新宿、芽ぐみ

注) 7月の地元の開催は有りません。宜しく。

ゴルフ同好会

世話人 井垣和太 TEL 04-2924-2934



今年は本当にゴルファー泣かせの天候が続いています。
梅雨入りももうすぐですが、「雨でもいいよ」というオールラウンドプレーヤーの方、**日高市の高麗川カントリークラブの平日優待券（メンバー料金）1組分が世話人の手許にあります。6月中旬の平日にプレーしませんか。**

9,600円（消費税、食事代別、カート有り）です。参加出来るような方は世話人までご一報下さい。（日程等は別途ご相談）

知っ得ゴルフ（2）2番ホール

同じスタート地点から、同じ組の最終の人が穴へ入れ終わるまで、上手も下手も歩調を合わせて進むのがゴルフ。穴入れまで3回で済ませる人も居るのに、7回も球と遊ぶ輩も居て調子を崩される。その上、終わった後も未練がましく素振り続ける人もいたりして、まるで切れの悪いおじいさんの立ちションみたい。

球（ボール）が穴（ホール）に入る（球がホール内に停止し、球全体がホールの縁よりも下にある状態）のがホールイン。穴の縁と旗竿の間に挟まっている場合は旗竿を持ち上げて球がホールの縁よりも下にある状態にしなければダメ。『ちゃんと入っていないのに、手でタマをいじくったりしちゃダメよお客さん。』

音楽同好会

世話人 高橋文子 TEL 393-2676

場所が容易に取れず、急な開催になったにも拘わらず、下記14名の方が参加され、楽しいひとときを過ごすことが出来ました。世話人高橋文子さんの巧みなピアノ伴奏と曲の名解説、加えてご主人正樹さんの手慣れたギター伴奏、更には富塚さんの軽快なウクレレと市川（彰彦）さんの重厚なオカリナ、それに私の拙いハーモニカも交え、あたかも小さなオーケストラをバックにして高らかな歌声が会場に響き渡り盛会でした。特筆すべきは間もなく米寿を迎えるという富塚さんのウクレレを弾きながら歌われた声の太さで驚き入りました。歌った曲は、荒城の月を始めとし、こいのぼり（三種）五月の歌、灯台守、港が見える丘、夏の思い出、真夜中のギター等々全部で20曲、日頃のストレスを解消し、楽しい2時間でした。（開催日・・・4月29日（日）、恩多ふれあいセンター）

（参加者）市川（彰）、江藤、木谷夫妻、小亀夫妻、重原、高橋夫妻、高鷺、滝川夫妻、富塚、井手（井手 巖 記）

◎次回は6月20日（日）、午後2時より恩多ふれあいセンターにて例会を開きます。予定曲は、応援歌「光る青雲」「バラが咲いた」「白いブランコ」「また君に恋してる」その他、梅雨から夏の唱歌や抒情歌など。歌いたい曲がある方は世話人までお申し出ください。また初めて参加される方、歌も楽器もどちらも大歓迎です。目下、ウクレレ、ハモニカ、オカリナの三巨匠にピアノ、ギターと五人で賑やかに歌と合わせています。

俳句同好会（稲酔会）

世話人 井垣和太 04-2924-2934



第50回「稲酔」俳句会の日程は下記の通りです。

記

開催日時 : 6月26日（土） 午後1時開始
会場 : 東村山ふるさと歴史館 研修室
兼題 : 「梅雨」一切（梅雨入り、梅雨寒、空梅雨、・・・）
出句 : 兼題句及び当季雑詠計五句
投句参加も歓迎いたします。前日までに世話人まで。

《兼題「梅雨」一切》（梅雨入り、梅雨寒、梅雨晴、空梅雨、梅雨明、梅雨出水、梅雨の蝶）

按ずるに、五月、梅まさに黄ばみ落ちんとす、石榴の花開き、栗の花落ち、墓の子ちまたに躍るのころ、長雨あり。これを梅雨といふ。雨はなはだ、多からずといへども、かならず石ずゑしめり、物かびを生ず。雷鳴をもつて出梅とす。『改正月令博物筌』（文化5年）

談笑のいと朗らかに梅雨の宿
梅雨晴や常とどかざる庭も掃き
釣堀の稚魚が田に来る梅雨出水

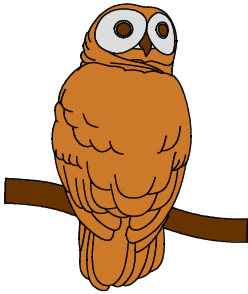
風生
美江
宏文

（稲雀 記）

多摩湖ふくろう通信 No.100

2010. 4. 1

戸田 志郎



大学卒業後25年のホームカミングデイに招待され、出席したときのことである。共通の友人を介して、當間昭治君（現在東村山稲門会副会長）に出会った。同じ東村山市在住ということもあり、親しくなった。そのときに東村山市に稲門会が作られることを知り、彼から参加を勧誘された。このような運命的な出会いがなければ、稲門会に加入することではなかったのではないかと思う。

ホームカミングデイの式典の中で、学生側の代表として見城美枝子が挨拶した。見城は大学側の挨拶の中で我々の世代が学園紛争のさなかの世代であったと言ったのに対して、我々は紛争ということばは使わない。学園闘争という言葉を使うと抗議していたことを鮮明に覚えている。紛争ととらえるのか、闘争ととらえるかでは事の本質がまったく違う。

早稲田を金持ちの大学の条件への不満が背景となり、学生自治会を中心として、クラスやサークルからの抗議の声が結集された。最後はセクト間の醜悪な争いに終わり収束したが、その後、大学側はこれからの教訓を得、勉強条件や教師との接近など少なからず改善がなされたと聞く。同じ事実が、言葉の選択により、まったく本質が違ってくるということは、前提となる数字の意味を理解しないのと、同じようなことが統計にも見られる。

政府が各種の統計を作成しているのは、それによって経済社会の実態を捉え、その結果を政策に反映させるためである。

経済統計を利用するときに注意することは、国際比較をする場合である。国によって、統計の算出方法が異なるため、同一のテーブルでは比較できないことが間々ある。たとえば、完全失業率や実効法人税の国際比較をする場合である。

OECDの失業率データ（2005年）をみると、日本4.4、アメリカ5.1、イタリア7.7、イギリス4.8、ドイツ10.6、フランス9.3となっている。ヨーロッパ諸国に比べると、低い失業率であるとか軽く見る傾向があるが、各国の失業統計の定義を踏まえるとそう単純ではない。日本は、調査週において仕事がなく、かつ求職活動を行い、就業可能であった15才以上の者となっている。不況の中、最初からあきらめてしまい、求職活動をしないものが増えているが、こうした潜在的失業者はカウントされない。アメリカは、調査週に仕事がなく、調査週を含む過去4週間以内に求職活動を行い、かつ就業可能であった16才以上の者。レイオフ中の労働者で前職復帰待機者を含む。ドイツは、調査日において、公共職安等に求職登録しており週5時間以上の雇用を希望している就業可能な15歳以上65歳未満の者、1週間での就業が1時間未満、2週間以内に就業可能、4週間以内での求職活動、のすべてに該当する15歳以上74才以下の者。フランスは、調査週において仕事がなく、2週間以内に就業が可能で、過去1ヶ月以内に求職活動をおこなった15才以上の者となっている。欧米諸国の基準で把握すれば、日本の失業率はさらに高くなり、失業者はもっと多くなる。

また、日本の法人税は高すぎるという人がいるが、法人税の税率を単純に比較すると、日本30%、アメリカ35%、フランス33.3%、イギリス28%、ドイツ15%、中国25%、韓国22%、となっており、日本が特段に高いとはいえない。

地方税を含めた「実効税率」では、日本40.69%アメリカ40.75%、フランス33.3%、イギリス28%、ドイツ29.83%、中国25%、韓国24.2%で、日本はアメリカと並んで高い方になる。財界などは、この数字を根拠に「日本の法人税は高いから引き下げろ」と主張している。

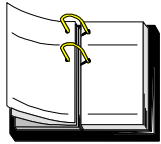
この議論には二つの問題がある。一つは、「実効税率」は理論上の税率にすぎず、実際の税負担率ではないことである。日本の企業は、たとえば研究開発減税では、研究費の10%前後の減税を受けており、その上限は法人税の2~3割になる。研究開発費の大きい自動車・電機・製薬など大企業では、実際の税負担率はその他の租税特別措置も加えて30%前後にまで下がってしまう場合が少なくない。

もう一つは、企業の公的負担を考える場合、税だけではなく社会保険料の事業主負担も考慮する必要がある。財務省の試算でも、税と社会保険料を合わせた企業の公的負担は、フランスやドイツは日本の1.2~1.3倍となっている。

EUなどに進出している日本企業は、現地でこうした高い税・社会保険料を負担しており、「国内では負担できない」という理屈にはならない。

消費税の国際比較でも、欧米の水準から見ると日本の消費税は高いとはいえないが、イギリスなどは食料品や医療費など生活必需品には消費税がかからないなど単純には比較はできない。

非正規労働者問題についても、日本の非正規労働者が37.8%にたいし、EU主要国では10%前後に過ぎない。派遣労働は、恒常的業務にこれを導入することが禁止され、あくまで臨時的・一時的業務に厳しく制限され、正社員があたりまえの社会になっている。かりに有期や派遣、パートで働いていても、賃金などの労働条件について、正社員と同じ待遇を受ける。グローバル化の時代、非正規労働者問題は世界的な課題になっているが、日本の深刻さはEU諸国と比べようがないのである。

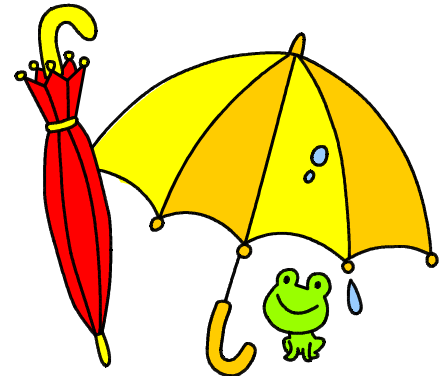


今月の行事（6月）

5日(土)	6月度役員会 雑学講座 カラオケ同好会
7日(月)～	旅行同好会
8日(火)	
14日(月)	テニス同好会
19日(土)	囲碁同好会
20日(日)	音楽同好会
26日(土)	俳句同好会
27日(日)	麻雀同好会

7月前半の予定

4日(日)	テニス同好会
10日(土)	7月度役員会 7,8月度お誕生会



編集局だより

○2010稲門祭について

稲門祭は、文化・スポーツ等、さまざまな企画を楽しむ、校友のための祭典です。

本年は、10月17日(日)に開催されます。豪華景品の当たる「稲門祭記念品」の販売も始まりました。東村山稲門会でも、稲門祭記念品を販売協力します。

この収益金は全額、学生への奨学金給付に供されます。そのパンフレットは、4月に『稲門会ニュース』と共に会員の皆様にお届けしてありますが、記念品購入を希望される方は、下記までご連絡ください。ご協力をお願いいたします。

高橋正夫(309-3407) 高鷺近(394-2336)

○次号の原稿締め切りは6月23日(水)です。よろしくお願いいたします。(中村)

fax: 042-391-0581 email: mym-naka@u01.gate01.com

俳壇

高部 糸行

年ごとの想い重ねて夏に入る
夏桑のむんむんとして絹の里

戸田 梟

緑陰に拠る束の間の雨宿り
根回りの草のびのびと花は葉に

内藤 慎

五月晴れ浅間のけむり一筋に
信濃路に唐松淡く芽吹きたり

丸本 北窓

小窓より伽羅の香もれて吊忍
正客の声のうるはし風炉点前

八木 竜湖

かぎりなき青葉に風の一途なり
少年の憂ひ揺れる草の笛

栗島 三郎

全山に五色広がるつつじ寺
五月雨や恋とどかざる青春期

井垣 稻雀

虫になり若葉の端を噛んでみる
庭若葉青き想いの閑ぎ合い

出田 麦穂

朝日浴び太極舞へば風薫る
薫風や国会の窓開け放て

菊田 一平

放流の水がごんごん代田寒
虫食いの穴を大きく幟の尾

幸田 瑞雄

新茶摘む媼の手にも朱の手甲
うねうねと緑の波や茶の畑

小永井 哲哉

曳き上げし舟乾く夜の月見草
手花火や童話に多し月のこと